

ブナ科 コナラ属

シラカシ (白欐)

Quercus myrsinifolia Blume

自生環境

山林、社寺林 など

原産地

日本在来

生育を脅かす要因



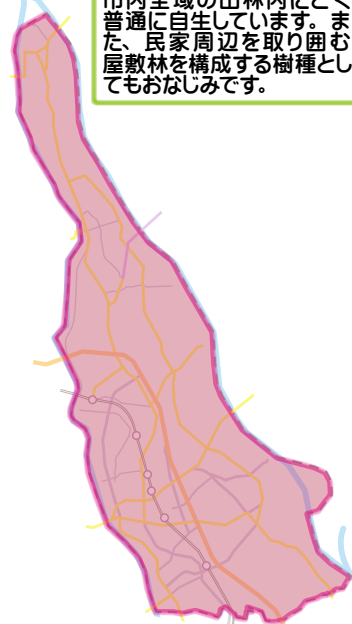
今のところ絶滅の心配はなく、特別な保全も不要です。ただ、うっそうと茂る大木なので目の敵にされがちです。緑をはぐくむ「地域の木」として大切にしたいところです。

特徴

- ☆ 一般に「欐 (カシ) の木」と呼ばれており、どんぐりがなる木のひとつです。市内では最も多く見られるどんぐりのひとつで、うっそうとした山林をかたちづくり、社寺林や屋敷林を構成する樹種としても重要です。シラカシは常緑樹なので、夏の酷暑や冬の寒風を緩和するはたらきがあります。
- ☆ 花は 4 ~ 5 月頃に咲きます。雌雄同株ですが、雄花と雌花に分かれています。雄花は穂になって垂れ下がり、樹冠いっぱいには咲いて目立ちます。
- ☆ どんぐりは紡錘形で光沢があり、成熟するとこげ茶色になります。帽子は横から見るとしま模様になっています。

市内の分布状況

市内全域の山林内にごく普通に自生しています。また、民家周辺を取り囲む屋敷林を構成する樹種としてもなじみです。



樹液を出す木

シラカシは大木になると樹皮から樹液を出すようになります。この樹液には、カブトムシやノギリクワガタなどの樹液を好む昆虫が多数集まってきます。市内ではシラカシのほかにも、コナラやクヌギ、マルバヤナギなどの樹種が大木になると樹皮から樹液を出して、同様に樹液を好む昆虫たちが集まります。ただ、最近は伐採されてしまうことが多く、樹液を出すような大木は激減してしまいました。



雄花は穂になって垂れ下がる

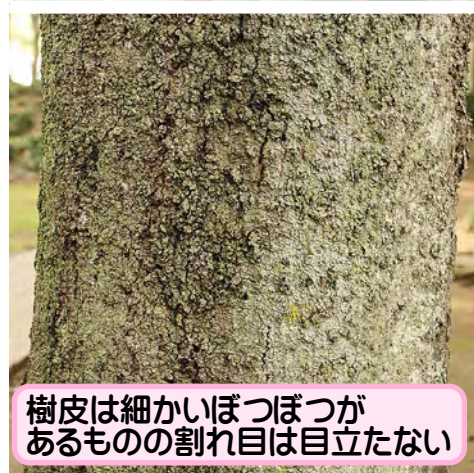


雌花の穂は上向きにつく

雌しべは 3 本



帽子を横から見るとしま模様



樹皮は細かいぼつぼつがあるものの割れ目は目立たない



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

